４月２０日　　**テーマ：主が共におられる**

聖書箇所：創世記３９章１節～２３節

◆今日のみことば

“監獄の長は、ヨセフの手に任せたことについては何も干渉しなかった。それは【主】が彼とともにおられ、彼が何をしても、【主】がそれを成功させてくださったからである。”創世記３９章２３節

◆メッセージ

皆さんはやってもいない悪い事をやったと言われて、誤解された(信じてもらえない)事はありますか。学校の友だちからわけもなくいじめられたりした事は、ないですか。

ヨセフさんは、ヤコブさんの息子たちの一人です。十三人兄弟の十二番目でしたが、ヤコブさんに特別に大切にされていました。兄弟たちからねたまれて、エジプトに奴隷に売られてしまいました。家族から離れて一人、きつい仕事をしなければなりません。でもヨセフさんは、任された仕事を一生懸命やりました。どんな仕事も不平を言わずにまじめにやりとおしました。隠れた所で見ておられる神さまが、きっと報いてくださると、ヨセフさんは信じていたからです。ところが、とんでもないことが起こったのです。奴隷にされた家で、まじめに働いていたヨセフさんでしたが、ご主人の悪い奥さんから、うそをつかれてひどい目にあわされました。ろう屋に閉じこめられてしまったのです。「奥さんがうそをついている」と説明しても、誰も信じてくれません。牢から出ることもできません。これから一体どうなってしまうことでしょう。神さまが喜んでくれるように生きようと、まじめに過ごしていたのに、どうして自分ばっかりこんなひどい目に会うのだろうと、神さまをうらみたくなるかもしれません。でも驚くことに、ヨセフさんは牢の中でも落ち込まないで、なお、神さまを信じて誤解が解ける時を待っていたのです。どんなにひどい目にあわせられても、希望を失わないでまじめに暮らしていました。神さまが共にいて、ヨセフが何をしても成功できるように、祝福してくださいました。その結果、周りの人たちがみな、ヨセフさんを信頼して、重要な仕事を任せてくれるようになったのです。どんなにつらい事がおきても、神さまはあなたと共にいて支えてくれます。どんな時も神さまを信じましょう。

◆お祈り

「神さま、どんなにつらい時も、おちこんでしまう時でさえ、神さまがともにいて、信じる者をまもり支えてくれる事を感謝します。」　　（下北沢聖書教会伝道師　山口孝子）